

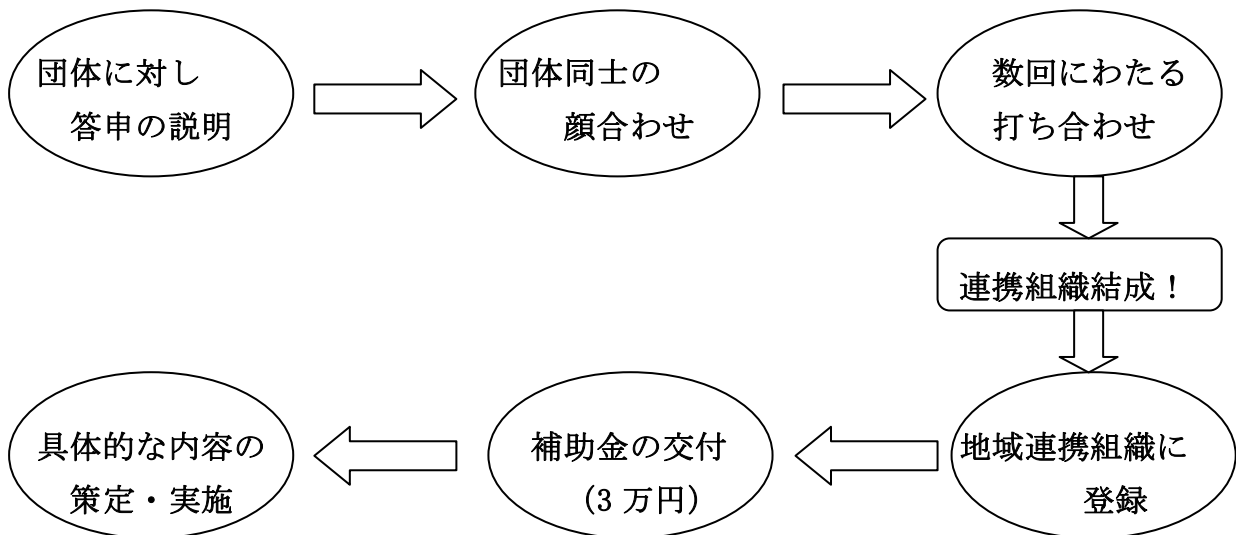
# 第1回安全・安心協議会アンケート結果に基づく答申案

## 1 もっと具体的な内容にすべきでは？

具体的な防犯パトロールの手法や組織運営に関しては、それぞれの地域や団体の特性に合わせて策定する必要があります。

答申においては、「震災時における防犯体制」について、地域でどのような組織体制をとるべきかを示し、具体的な内容については、組織内で地域の特性に合わせて検討していただこうと考えています。

《答申後の流れ》



区は、上記のような流れを作ることに協力をさせていただき、具体的な内容（パトロール方法や訓練）については自主的な運営をお願いする方針です。

## 2 防災会は防災に関わる組織であり、防犯の任務を行ってよいのか？

**防災会の仕事をふやせるのか？防災会が活発ではない地域はどうするのか？**

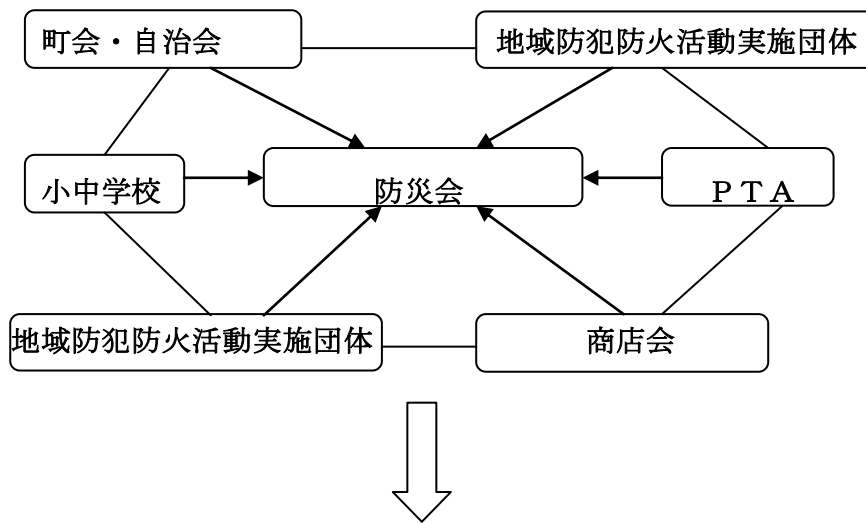
防災会を単位とした組織形成をモデルケースとして考えておりますが、防災会がすべての任務を負う訳ではありません。

防災会は震災時の活動に慣れているということもあり、中心に置くことで、組織内における情報伝達や意思疎通もしやすく、震災時における防犯・防火活動の計画

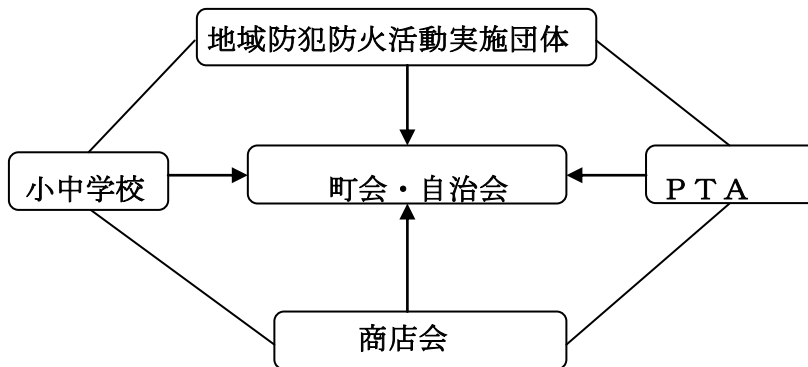
も立てやすいと考えております。

しかし、地域によって、防災会の有無や活動の頻度が様々であり、一律で同じ組織体制を考えていくと、無理が生じる可能性があります。したがって、防災会を中心とした組織をモデルとしておりますが、地域の特性を考え、その地域にあった組織体制（自治会や商店会を中心とする組織など）を構築することになります。

《モデルケース》



《地域によってはこんなケースもあり得ます》



今回の答申は、防災会を中心とした組織づくり自体が目的ではなく、組織同士の連携による地域の防災力・防犯力・防火力の向上が第一目標であるので、形にこだわらず、その地域にあった体制を構築する必要があります。

### 3 防災会、PTA、避難拠点連絡会、その他団体で人が重複している事が多いが、整理が必要では？

組織体制が整ったら、誰がどこの組織に所属しているか一覧にするなどの整理が必要と考えます。整理することにより、複数の組織に所属している人が明確になれば、組織間の連絡などが容易になるなどのメリットが生まれると考えます。

### 4 警察・消防OBに任務を任せてはどうか？ 安全・安心パトロールカーの活用を検討しては？

業務として委託するものではないので、「震災時における防犯・防火体制」を警察や消防のOBのみに任せることはできません。「地域のことは地域で協力して守る」という点からも、地域で対応することが基本と考えます。また、活動のアドバイス等であれば、管轄の交番や警察署、消防署や消防団にご相談ください。

安全・安心パトロールカーは、震災直後においては、緊急用の庁有車として区が使用するため、しばらくの間は、地域の巡回も十分な体制がとれず、地域団体に貸出できる状況にはないと考えられます。どのように地域の巡回や貸出を再開するかなど、その時の状況をみて対応いたします。

### 5 避難拠点単位では広範囲すぎではないか？

震災時においては、防犯・防火活動を行える人数が少ないので、一定規模の組織による活動が必要と考えます。

区内で震度5弱以上を観測した場合、すべての避難拠点が開設されます。そして、避難勧告が発令されれば、その地域の住民は避難拠点到避難することになるので、街に人が少なくなります。また、避難拠点の運営も必要なため、地域の防犯・防火活動を行える人が少ない状況になる可能性が高いと考えます。

その状況のもと、「震災時における防犯・防火活動」を行うには、一定規模の組織で協力し合わなければ、十分な活動が行えないと考えます。

また、区や警察、消防などの情報も避難拠点到流す体制があることから、避難拠点や小学校を単位とする事が適正と考えます。

さらに迅速に動けるような細かい単位の組織が必要であれば、組織の中で、役割分担を検討していただければと考えています。